

# 取扱説明書

品質保証書付き

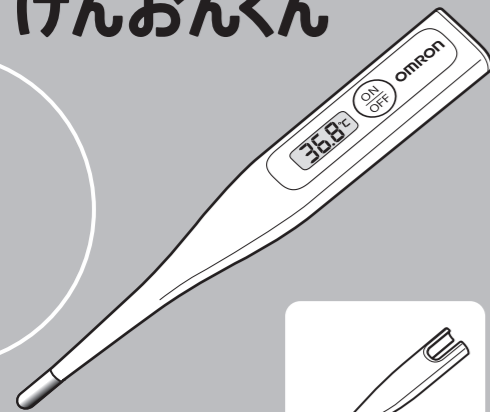
OMRON

5328652-0D

## オムロン電子体温計 MC-246 わき・口中

医療機器認証番号: 222AGBZX00004000

### けんおんくん



お知らせブザー付きのスタンダードタイプ

〈付属品〉  
●収納ケース

■このたびは、オムロン製品をお買い上げいただきましてありがとうございました。

■安全に正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

■本書は、いつもお手元においてご使用ください。

■本書は品質保証書を兼ねています。紛失ないように保管してください。

All for Healthcare



## 体温計の正しいあてかた

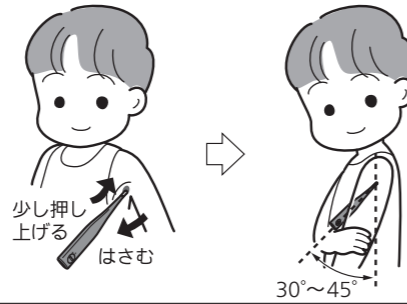
体温計を正しくあてて測らないと、精度の高い検温値が得られない場合があります。

### わきで測る場合

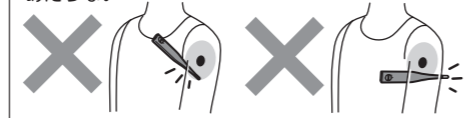
●わきの中心にあてる



●下から少し押し上げるようにして、わきをしっかりとめる  
わきと体温計が密着するように腕を軽く押さえてください。

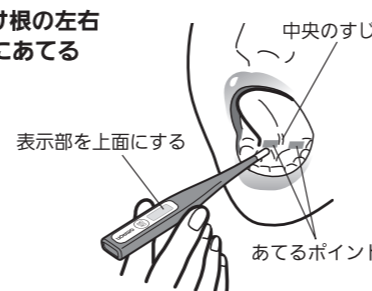


上から差し込むと、わきのくぼみにあたらぬ  
横から差し込むと先端がでてしまう

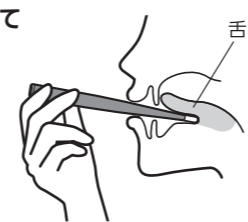


### 口中で測る場合

●舌下のつけ根の左右どちらかにあてる



●舌で体温計を密着させて口を閉じる



●体温計がずれないように手で支える  
●検温中は口を開かない  
口で呼吸しない



## こんなときは正しく測れません

●運動や入浴、飲食の直後 30分以上時間をあけましょう。



●長時間布団の中にいたりして、わきの下が汗ばんでいるとき  
わきから汗をきれいにふき取りましょう。



●起床後すぐに動き出したとき  
起床後、動く前に測るか、動き出してから30分以上時間をあけましょう。

※起床直後に動き出したときは、体温が高くなり、変動が大きくなっています。



## 安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください。

- ここに示した内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や、他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。
- 表示と意味は次のようになっています。

### 警告、注意について

**警告** 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示します。

**注意** 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害\*の発生が想定される内容を示します。

\*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットに関わる拡大損害を示します。

### 図記号の例

●記号は強制（必ず守る）を示します。（左図は「必ず守る」）

○記号は禁止（してはいけない）を示します。（左図は「禁止」）

### 警告

測定中に体温計の近く（30cm以内）で携帯電話やスマートフォンを使わないでください。正しい検温ができません。病気が悪化する原因になります。

検温結果の自己診断や治療は危険です。医師の指導に従ってください。自己診断は、病気が悪化する原因になります。

乳幼児の手の届かないところに保管してください。また、お子様だけのご使用はさけてください。自分で無理に測ろうとしてけがをする原因になります。

電池や電池カバーは乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が電池や電池カバーを飲み込む恐れがあります。飲み込んだときは、すぐ医師の治療を受けてください。

本商品はわきや口中用の体温計です。それ以外（耳など）で検温しないでください。正しい検温ができません。耳などを傷つける原因になります。

本体が水などでぬれた状態で測定しないでください。正しい検温ができません。病気が悪化する原因になります。

人の検温以外に使用しないでください。動物などを無理に測ろうとすると、暴れてけがをする原因になります。

### 注意

電池の⊕⊖極を正しく入れてください。発熱や液漏れ、破裂などにより本体の破損や、けがの原因になります。

指定の電池を使ってください。発熱や液漏れ、破裂などにより本体の破損や、けがの原因になります。

長期間（3ヵ月以上）使用しないときは、電池を取り出しておいてください。漏液、発熱、破裂などを起こし、機器を破損させる恐れがあります。

本体を噛まないでください。事故や故障の原因になります。

複数人で併用しないでください。病原菌の感染する原因になります。

電池を加熱したり、火の中に入れてたりしないでください。破裂などにより、けがの原因になります。

電源が入ったまま、電池交換を行わないでください。けがや本体故障の原因になります。

強い静電気や電磁波のある場所で使用しないでください。検温値に誤差が生じたり、故障の原因になります。

分解や修理、改造をしないでください。検温値に誤差が生じたり、故障の原因になります。

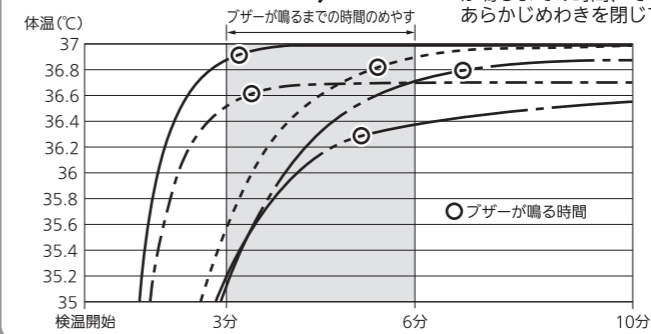


## 検温のしくみ

温度上昇がほとんどなくなるとブザーが鳴ってお知らせします。

ピピピピィ、ピピピピィ、ピピピピィ

〈わきで検温した場合〉



※人によって温度上昇の遅い人と速い人がいますので、ブザーが鳴るまでの時間、そのときの温度には個人差があります。あらかじめわきを閉じて温めておくと上昇が速いです。

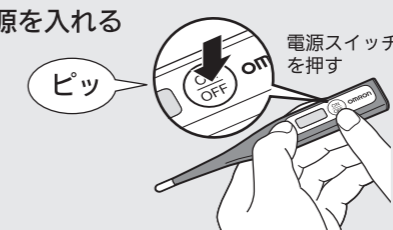
一般的に実測式体温計の場合、正しく測るには、わきで約10分（口中で約5分）の時間が必要です。

温度は測り始めるとともに徐々に上がっていきます。温まって温度変化がなくなるまでに、わきをしっかりと閉じて約10分（口中では口をしっかりと閉じて約5分）かかるといわれています。

## 体温の測りかた（検温）



### 1 電源を入れる



表示部が全点灯

188.8 M<sup>°C</sup>

前回測った体温が表示

36.0 M<sup>°C</sup>

検温の準備中

37.0 °C

### 2 「L」が表示されたら、体温計をわきにはさむ

※口中で検温するときは、舌下のつけ根にあてます。



「L」が表示されれば準備完了

L °C 点滅

【こんなときは】  
外気温（周囲環境温度）が32°Cを超えると感温部が温まり、温度を表示する場合があります。この場合は、感温部をよく絞ったぬれタオルなどで冷やしてから検温してください。

検温スタート

34.9 °C 点滅

### 3 温度上昇がほとんどなくなると、「ピピピピィ」と3回鳴るので、検温結果を確認する

※正しく体温を測るには約10分測り続けてください。（詳しくは「検温のしくみ」をご覧ください。）



ピピピピィ、ピピピピィ、ピピピピィ

「°C」が点灯に変わる

36.8 °C 点灯

### 4 電源を切って、収納ケースに入れる

お願い

約30分後（測定していないときは約3分後）に電源が切れますが、電池の消耗を防ぐため、電源は切ってください。

しっかりとまるまで差し込む



